

【基本的運営方針】 A 優れた作品の収集と保管

平成30年3月31日現在

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
コレクションの活用状況	コレクションの稼働率	25.0%	20.0%	80.0%	b	<p>指標値: 作品の保全と公開のバランス等を勘案し、4年に1度の展示を目標とする。</p> <p>・所蔵品を活用した企画展、及び「コレクション・ギャラリー」において、さらなる有効活用を図る。</p> <p>・今年度は、道立館を含む巡回展1件、道立館1件、管内館1件の計3件にて活用。今後、「アートギャラリー北海道」の進展にともない、他館での企画展への貸出が期待できる。</p>
	所蔵作品を他の美術館企画展で活用					
コレクションの充実度	収集方針に基づき、主体性を持ち積極的に収集活動を行う				c	<p>・バルビゾン派の画家、デュプレの油彩画の購入の機会があったが、一足違いで売却済みとなってしまう購入機会を逃した。</p> <p>・今年度は受贈による収集のみであるが、コレクションの収集方針のバランスを整えながら収集にあたり、コレクションの厚みを持たせたい。</p>
保管状況の適切さ	適正な保管環境を保持し、必要な調査に基づき措置を行う 計画的に所蔵作品の修復を行う				c	<p>・施設設備の老朽化が著しいが、収蔵庫や展示室における温湿度の管理について、自動制御設備を更新するなど美術作品の保管環境維持に努めている。</p> <p>・今年度は油彩画1点を修復しており、予算を確保しながら必要最低限の措置を行えた。</p>

【基本的運営方針】 Aの評価

評価	コメント(評価の考え方)
c	<p>・作品収集については、基金の有効活用がポイントとなる。所蔵作品については、所蔵品展の充実が必須となっていくなか、公開と保全の両面を考慮したバランスのよい企画を推進する必要がある。</p> <p>・空調機器の経年劣化や建物の老朽化の対策を取りつつ、美術作品の適正な保管環境維持に努めていくことが求められる。</p>

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 B 多彩で特色ある展示活動の充実

平成30年3月31日現在

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
常設展示の充実度	常設展示観覧者数	20,000人	25,793人	129.0%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・指標値を上回る観覧者数となり、観覧者数及び満足度、リピート率ともに目標を達成している。 ・特別展の観覧者数増が、常設展の観覧につながっている。(常設展観覧「初めて」回答者23.7%)
	常設展示観覧者の満足度	85.0%	85.7%	100.8%		
	常設展示のリピート率	15.0%	18.4%	122.7%		
特別展示の充実度	特別展示の観覧者数	30,000人	45,807人	152.7%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・指標値を大きく上回る観覧者数となり、観覧者数及び満足度、リピート率ともに目標を達成している。 ・リピート率については、新規来館者(特別展観覧「初めて」回答者)が40.0%となり、ターゲットの拡充も図られた。
	特別展示観覧者の満足度	85.0%	94.0%	110.6%		
	特別展示のリピート率	15.0%	27.8%	185.3%		
入館者の拡充	美術館の魅力を広め入館者増につながる取組の実施				b	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店や道の駅、ホテルなど、多くの人が利用する場所にポスター、チラシを送付している。普及事業のチラシをダイレクトメールで送付している。
展示の状況	展示のねらいが効果的に表現できているか				b	<ul style="list-style-type: none"> ・「知られざる五十三次」で旅姿コスチュームを用意した写真撮影コーナーを設置したり、「追悼特別展 高倉健」で空間全体を使った映像インスタレーションを行うなど展示造作等で演出し、展示会の特質を際立たせ、また作品の魅力を引き出すことを意図している。
館外展示の充実度	移動美術館入場者満足度	設定なし	設定なし		c	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広市寄託作品を帯広市百年記念館で展示。
	その他の館外展示の状況					

【基本的運営方針】 Bの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	平成9年度以来の年間観覧者数7万人を超える状況となり、目標を達成しているが、リピート率の向上や入館者数の拡充に向けた取組について、検討が必要である。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

平成30年3月31日現在

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
教育普及事業の充実度	教育普及プログラムの実施数	50回	41回	82.0%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会展では、共催者と協働しワークショップやコンサート、プレゼント企画など多様なイベントを開催したため参加者数は指標値を上回った。 ・プログラムの実施数については、検討が必要である。
	教育普及プログラムの参加者数	1,000人	3,587人	358.7%		
	教育普及プログラムの満足度	90.0%	93.5%	103.9%		
	教育普及事業の状況					
美術情報提供の充実度	ARS、図書コーナーの利用者件数	2,500人	7,832人	313.3%	c	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、観覧者数が多かったことから、図書コーナー等の利用が多かった。 ・ティールラウンジと連携し図書コーナー付近にテーブル席を複数設置。 ・ホームページについては、昨年6月に管理サーバーが切り替わり新たに作成したが、旧ページの削除ができず、検索ソフトで検索すると旧ページが出てしまう状況が今年1月まで続いたため、アクセス件数が目標に達しなかったものと考えられる。今後は、掲載内容の充実を図る必要がある。 ・ソーシャルメディア(Facebook)の投稿数は目標を達成した。 ・メールマガジンは実施できなかった。今後、メディアを活用した情報発信全体を見直し、継続について検討する必要がある。
	ARS、図書コーナーの利用者満足度	75.0%	75.2%	100.3%		
	多くの来館者が利用できる図書コーナーの環境整備・保持					
	HPアクセス件数	13,000件	8,771件	67.5%		
	メールマガジン等発行回数	4回	0回	0.0%		
	ソーシャルメディアの投稿数	144回	153回	106.3%		
	情報発信の状況					

【基本的運営方針】 C の評価

評価	コメント(評価の考え方)
C	<ul style="list-style-type: none"> ・教育普及事業の満足度は高く、今後も関係団体等との連携により充実を図る。 ・情報提供の柱であるホームページが、管理サーバーの切り替えに伴う旧ホームページの削除や編集を適切に実施できず、利用者に混乱を招いた。また、新しいホームページの編集において、職員の知識や技術の向上に向けた取組が必要である。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 D 活動の基礎となる調査・研究の推進

平成30年3月31日現在

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
調査・研究の 充実度	学芸員による調査報告				b	・研究計画による課題や展覧会に伴う分野の調査・研究を着実に 行い、展覧会運営や執筆に活かしている。
	二次資料の状況					・寄贈を含め、作家資料や図書資料等は継続的に収集・整理し 充実を図っている。 ・収納スペースの狭隘化が深刻な課題となっている。

【基本的運営方針】 Dの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	研究計画による課題や展覧会にともなう分野の調査・研究を着実に 行っている。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 E 地域文化の振興

平成30年3月31日現在

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
地域の関係機関との連携状況	ボランティア団体等の主体的な事業の参加者数	100人	262人	262.0%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、第17回北海道美術館ボランティア交流회가当館で開催されたため、指標値を大きく上回った。 ・帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、帯広美術館振興会、十勝毎日新聞社、北海道新聞社、平原社などの美術家団体、帯広市および周辺町村の教育委員会ほか各種団体と、展覧会はもとより、教育普及事業、付帯施設運営、広報活動など様々な形で連携の充実を図っている。 ・市内企業数社に展覧会を継続的に協賛していただいているが、その時の実情に応じ柔軟な連携を画策していきたい。
	ボランティアが活動しやすい場の提供					
	地域と連携した取組の状況					
学校との連携の状況	キャンパスパートナーシップのメンバー校数	2校	2校	100.0%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・帯広大谷短期大学、北海道教育大学釧路校の2校。 ・出張アート教室や指導者研修は、年々定着しつつあり、美術教育の一助となっている。市内中学校4校では、夏休みに全校生徒を対象に展覧会鑑賞を課題としていただいている。 ・指導者研修は、教育局と連携し初任段階教員研修(3年次研修)と兼ねて開催できている。 ・アートカード作成における帯広市教育研究会図工美術部会、十勝造形サークルの協力を契機に今後も連携を深めたい。さまざまな形で小・中・高校の教員とのネットワークを維持・拡大したい。 ・指導者研修の満足度は高い。 ・近隣児童会館との連携により多くの学校が利用し満足度も高い。 ・遠方の学校は、交通手段の確保が課題となっている。
	出張アート教室の延べ参加者数	80人	145人	181.3%		
	指導者研修の延べ参加者数	10人	6人	60.0%		
	学校教育活動への対応数	10件	13件	130.0%		
	参加者・利用者満足度					

【基本的運営方針】 Eの評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	地域の関係機関や団体、学校との連携は、美術館の取組の裾野を拓ける上で非常に重要であることから、指標値の達成とともに内容のさらなる充実を図る。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E

【基本的運営方針】 F 良好な滞在環境の提供

平成30年3月31日現在

評価項目	評価指標	指標値	実績値	達成率	評価	コメント(評価の考え方)
附帯施設の充実度	レストラン・喫茶利用者の満足度	75.0%	73.8%	98.4%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶、ミュージアム・ショップとも概ね目標を達成している。 ・いずれの付帯施設も、当館ボランティア「しらかばの会」が運営に当たっており、職員との連携を密に内容を工夫している。
	ミュージアムショップ利用者満足度	75.0%	76.3%	101.7%		
	事業者と協力してのサービス向上の実践					
館のホスピタリティ	館内スタッフの対応に関する利用者の満足度	90.0%	95.0%	105.6%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートにおいて満足度が高く、目標を達成している。 ・職員とボランティアが展覧会ごとに学芸員のガイダンスを受け、理解を深めた上で来館者への対応にあたっている。
	ホスピタリティ向上に向けた取り組み					
施設環境の保持	施設内外の環境への満足度	90.0%	96.0%	106.7%	b	<ul style="list-style-type: none"> ・実績値は、アンケートにおける「館内表示」、「清潔さ・雰囲気」の満足度の平均値で算出し、目標を達成している。 ・日常点検、職員の巡回により、安全性保持に努めている。 ・施設・設備の修繕等は喫緊の対応に限られる状況にあり、施設全体の老朽化を踏まえ、計画的な改修が必要となっている。
	施設安全性保持のための必要な措置					

【基本的運営方針】 F の評価

評価	コメント(評価の考え方)
B	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者アンケートを全職員で共有し、ボランティア団体と連携を密にしながら運営の改善・充実に努めている。 ・施設・設備の安全保持については、老朽化が深刻な課題となっているが、随時点検し計画的な修繕に努めている。

【評価の評語】

評価の結果	評価項目	基本的運営方針
優れた成果を上げている	a	A
目標(計画)を達成している	b	B
目標(計画)をほぼ達成している	c	C
目標(計画)を達成できていない(努力が必要)	d	D
方法に再検討が必要	e	E